

# よむよむ

神川町立青柳小学校  
2021. 7. 9  
図書室便り No. 4

## 読書月間の読書冊数発表！

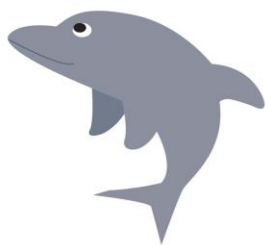
6月の図書委員会で読書冊数調べを行いました。  
各学年の平均冊数を発表します。

| 学年   | 冊数（家庭） | 冊数（学校） |
|------|--------|--------|
| 1年生  | 5.7冊   | 13.7冊  |
| 2年生  | 7.1冊   | 9.5冊   |
| 3年生  | 3.8冊   | 8.3冊   |
| 4年生  | 9.9冊   | 7.4冊   |
| 5年生  | 3冊     | 3.2冊   |
| 6年生  | 1.6冊   | 1.5冊   |
| なかよし | 4.5冊   | 9.8冊   |

各学年頑張って読書をしていました。高学年は、ページ数の多い本を読んでいる子が多かったです。低・中学年は、たくさん絵本を読み、読書カードがいっぱいになって、記録用紙をもらいにくる子も多くいました。引き続き、読書を楽しんでください。

## 新刊66冊図書室へ

今年度の図書予算で購入した66冊の本が図書室に入りました。早速、子供たちは図書室へ借りにきていました。この後も、今年度の読書感想文コンクールの課題図書を購入しましたので、夏休みの読書感想文を書く時にぜひ、借りてください。



## 青柳小学校職員による おすすめの本の紹介



校長先生のおすすめの本に引き続きまして、6月14日月曜日の昼の放送では、堀口先生のおすすめの本を紹介しました。図書室には、先生方が紹介したおすすめの本のコーナーが作られ、本が展示されています。ぜひ、借りて読んでください。

私のおすすめの本は、日向 理恵子（ひなた りえこ）さんの「雨ふる本屋」です。雨が降っている本屋の中、一人の少女が本を抱えているという表紙が梅雨の時期にあっていると思い、読んでみました。

主人公のルウ子は、幼い妹にお母さんを取られてしまったと、やきもちを焼く女の子です。ある日、お使いの帰りに雨が降り、図書館で雨宿りをしていると、一匹のかたつむりを見つけました。そのかたつむりの後を着いていくと、「雨ふる本屋」にたどり着きました。そこには、店主のドードー鳥のフルホンさんと助手の舞々子さんがいました。「雨ふる本屋」は、人間に忘れられた物語や途中まで書いて捨てられてしまったお話の種に雨をふりかけて本に完成させ、それを売る本屋です。しかし、ここ最近は、雨をかけてもうまく本に育ちません。そこで、ルウ子は、物語の種がある「ほっぼり森」に行つて原因を探し、解決に向けて奮闘します。

妹にやきもちを焼いていたルウ子が、色々なことに立ち向かい、どんどんたくましく成長していく姿は、読者に感動を与えます。ルウ子のように、「何かやってみよう。」という気持ちにもなります。ぜひ読んでみてください。

「雨ふる本屋」は、シリーズになっています。学校の図書室にもありますので、シリーズも借りて読んでみてください。

夏休み前の本の貸し出しは、7月12日から16日です。5冊借りられます。一度に借りるのが大変な場合は、2回に分けてでもよいです。今年度は、夏休みに入っても7月27日から7月30日の午前中に借りられます。わくわく教室で学校に来た時、または保護者の方の送迎で図書室を御利用ください。また、子供たちだけの図書室への来校は避けてください。よろしくお願いします。